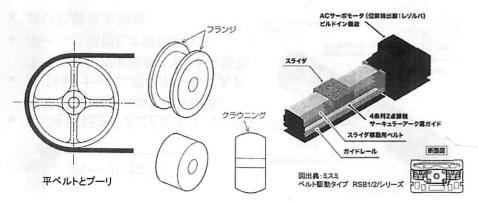
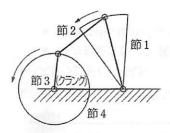
ベルトによる伝達

- ベルトやチェーンをプーリやスプロケットに巻き付けた機構 (巻き掛け伝動機構)
- 軸間距離に制約がない、軽量で騒音が少ない
- 回転運動の伝達, 直動運動への変換(例:ベルトコンベア)
- ベルトのように摩擦を利用している場合、滑りが生じる

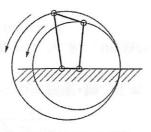


リンク機構による伝達

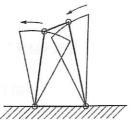
- リンク(節)の組み合わせで複雑な運動の実現が可能
- 回転できるリンクをクランク、揺動(1周未満の回転)するリンクをてこという
- 平面4節リンク機構
 - 4つのリンクが4個の回り対偶で連結
 - 回転運動 ⇔ 回転, 搖動運動



(a) てこクランク機構



(b) 両クランク機構

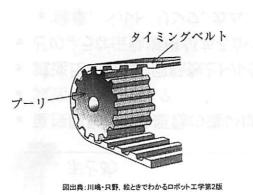


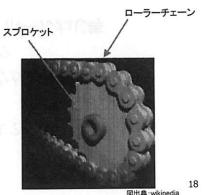
(c) 両てこ機構 図出典:松元・横田、ロボットメカニクス

ベルトによる伝達

- タイミングベルト(歯付きベルト)
 - 回転むらがない
 - 歯飛び現象に注意

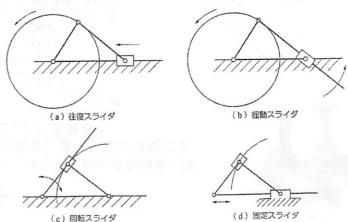
- スプロケットとローラーチェーン
 - 低速大荷重の伝達に向く
 - 潤滑が必要





リンク機構による伝達

- スライダクランク機構
- 回転運動を直動運動に変換



20 図出典:松元・横田、ロボットメカニクス

テオ・ヤンセン機構

- テオ・ヤンセン(オランダの彫刻家・物理学者, 1948~)
- ストランドビースト
 - 風力を動力として、複雑なリンク機構により生物のような歩行を実現
 - 素材はポリ塩化ビニールのパイプ





高耐久性ステンレスシー

同出曲·wikinedia

ステッピングモータ

21

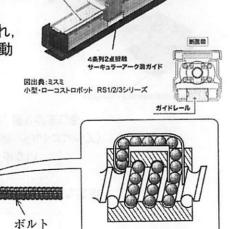
ボールねじ

■ ねじを回転させることにより、ナットを **-ハキッン 直動運動させる(ねじ送り機構)

- ねじ軸とナットの間にボールを入れ、 ボールの転がり運動でナットを移動
- ボールは循環して使用される

図出典:川嶋他、絵ときでわかるロボット工学第2版

■ 高い位置決め精度

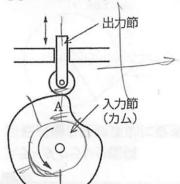


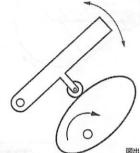
ナットの内部



カムによる伝動

カム(cam)の回転を直動運動,揺 動運動など様々な形の運動に変 えることが出来る





図出典:松元・横田,ロボットメカニクス

図出典:wikipedia

(a) 直動運動を作る板カム

(b) 揺動運動を作る板カム



まとめ

- 直接駆動と間接駆動の違いは?
- 減速機の役割は?
- 減速比の計算,回転数とトルクがどう変化するか?
- どのような伝動機構があるか?
 - 歯車、ベルト、リンク、カム、ボールねじ等

24